

学校番号	学 校 名
57	岐阜県立斐太高等学校

学校教育目標	人間尊重の精神を基調として、知・徳・体に調和のとれた人間性豊かな生徒を育成し、将来国家社会の構成者として、一人一人がその能力と特性を発揮し、有為な担い手となることを目指す。 1 歴史と伝統を重んじ、切磋琢磨の精神に則り、自学自習の気風を高揚する。 2 愛情と信頼を基盤として、自由にして節度ある人間関係を醸成する。 3 健康と体力を増進し、確乎不拔の精神と創造性豊かな実践力を育成する。	
＜教育指導の重点＞ 今年度の具体的な重点目標	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 個々の生徒の主体的に学ぶ姿勢を育て、キャリア形成を見据えた進路目標実現を果たすことができる確かな学力の向上と、国際社会・地域社会に求められる能力の伸長を図ります。	① 生徒の実態に即して授業形態や展開を工夫して学力の定着及び向上を図り、進路目標の実現につなげます。 ・習熟度別授業や、少人数授業、進路別編成授業など、個に応じた指導を充実させるとともに、進路希望に合わせたカリキュラムの編成を目指します。 [例]習熟度別授業：数学Ⅰ・数学A（1年）、英語表現Ⅱ（2、3年）、古典B（2、3年） 数学ⅡⅢ（2、3年理系）、物理（3年理系）、化学（3年理系） 少人数授業：英語表現Ⅰ（1年）、進路別編成授業：数学Ⅱ（3年文系） ・研究会や検討会、教員相互の授業参観などを通して、生徒の学力を伸ばす指導力向上、授業改善に努めます。 [例]授業公開週間、ICTを活用した授業研究 ② 協働的な学びを効果的に展開する指導内容や指導方法を研究し、生徒が主体的に学習に臨む姿勢を育みます。 [例] ICTの活用、ALTとの少人数授業、ディベート学習	① 定期考査及び校外模擬試験をはじめとした各種テストの結果分析 大学入学共通テストの得点到達度の向上 ② 生徒による授業評価アンケートや授業後アンケート結果の検証
2 情報リテラシーの醸成を含む規範意識や公共心を育成するとともに、交通安全指導を通して、安全意識の高揚とマナー向上を図ります。	① 「携帯電話等の校内使用について」（入学時）の提出や Wonderful Night の実施等により、携帯電話の使用マナーの向上を目指します。 ② 外部講師による講演やクラス居心地度調査（7、11、2月）、「すぐメールいじめアンケート（岐阜県）」、情報モラルチェックシート（6、10、2月）を実施し、生徒一人一人の人権意識と情報リテラシーを高め、実態を正確に把握し、生徒の指導及び啓発に努めます。 ③ 春の交通安全指導（4月）や交通啓発活動（7月）、下校指導（10月）など、MSリーダーズとの様々な活動を通じて、安全意識の高揚を図り、交通マナー向上を目指します。 ④ 登校・遅刻指導を通して、時間を守ることなど基本的な生活習慣の確立、生徒の規範意識の向上を図ります。	① 生徒や保護者による学校評価アンケートの結果分析 ② 各種調査結果の結果分析 ③ 交通事故件数の減少、地域からの評価等 ④ 生徒の出欠状況や遅刻者数の減少
3 地域に根差したグローバルリーダーの育成を目指し、生徒一人一人が主体的に進路を考え、目標を達成できるようにサポートします。	① FRH（Hida. T-Academia（地域活性化プログラム））や学校行事を通して、問題解決能力やグローバルマインドを育成するとともに、豊かな人間関係を構築する力を育成します。 ② キャリア教育に力を注ぎ、自ら主体的に自己の進路を考える意欲の向上を図ります。	① FRH発表会の内容及び指導助言者からの講評等 ② 進路希望調査や講演会後の感想文、レポート等で生徒の進路意識の向上を判断
4 職員の働き方改革を進め、風通しのよい職場環境づくりを進めます。	① 職員間の業務平準化、在校時間短縮、健康維持の注意喚起を推進します。 ② 部活動ガイドラインの遵守、部活動数の適正化を図ります。 ③ ハラスメントやメンタルケアの早期の発見と解決を推進します。 ④ 不祥事根絶のための研修を推進します。	① 出退勤システム「勤次郎」の実績（時間外勤務時間数）の減少 ② ストレスチェックなどの職員のメンタルチェック数値の改善

